

令和5（2023）年度 広域科学専攻 修士課程 入学試験  
相関基礎科学系 課題

課題

志望する専門グループが指定する下記の指示に従って相関基礎科学系の過去問題を選択し、その解答を、所定の解答用紙に手書きで記述し提出すること。第一志望グループ、第二志望グループ両方の指示に従い、両グループの指定条件を満たすのに必要なだけ問題を選択すること。解答の作成にあたっては、下記（次ページ）に示す課題解答作成要領をよく読んでその指示に従うこと。

Aグループ：

平成26年度（平成25年実施）～平成30年度（平成29年実施）の相関基礎科学系修士課程入試問題の総合科目のうち、第12問～第14問の中から3題を選択し、その解答を指定の解答用紙に記入して提出すること。

Bグループ：

平成28年度（平成27年実施）～2020年度（2019年実施）の相関基礎科学系修士課程入試問題の総合科目のうち、第1問～第5問の中から問題番号の異なる3題を選択し、その解答を指定の解答用紙に記入して提出すること。

Cグループ：

2020年度（2019年実施）の相関基礎科学系修士課程入試問題総合科目の「第1問 数学」を解き、その解答を指定の解答用紙に記入して提出すること。

D1グループ：

平成26年度（平成25年実施）および平成27年度（平成26年実施）の相関基礎科学系修士課程入試問題の総合科目のうち、第1問～第10問の中から3題を選択し、その解答を指定の解答用紙に記入して提出すること。ただし、少なくとも1問は数学、物理学（第1問～第5問）の中から選択すること。

D2グループ：

平成26年度（平成25年実施）～平成28年度（平成27年実施）の相関基礎科学系修士課程入試問題の総合科目のうち、第1問～第14問の中から3題を選択し、その解答を指定の解答用紙に記入して提出すること。ただし第9問は選択から除外し、かつ必ず3題とも異なる問題番号を選択すること。

## 課題解答用紙作成要領

1. 総合文化研究科ホームページより、「関連課題解答用紙」ファイル(PDF ファイル)をダウンロードして用いること。解答用紙は A4 用紙に印刷し使用すること。
2. 関連基礎科学系の過去問題は、関連基礎科学系ホームページ(以下の URL)に公開されているものを使用すること。  
<http://www.dbs.c.u-tokyo.ac.jp/exam/kakomon/>
3. ひとつの問題につき、解答用紙2枚以内に収めて解答を記述すること。
4. 特に指定がない限り、日本語もしくは英語で解答すること。
5. 解答は手書きとする。
6. 解答にあたっては、解答に至る思考過程も記載すること。
7. 問題の選択にあたっては、志望する研究分野の内容を十分に考慮すること。
8. 指定された様式に記入する「第一志望専門グループ」「第二志望専門グループ」は A/B/C/D1/D2 の中からそれぞれ 1 つ選び記入すること(「第二志望専門グループ」は希望者のみ記入)。教員がどのグループに所属しているかは「令和5(2023)年度広域科学専攻指導教員研究内容一覧」により確認すること。
9. 解答を提出する必要がある問題数は、第一志望、第二志望の専門グループの組み合わせ、および問題の選択によって変わりうる。解答用紙の提出にあたっては、必ず両志望グループの指定条件を全て満たしていることを確認すること(注1)。
10. 選択した各問題の解答それぞれについて、審査を希望する専門グループを解答用紙の「審査希望チェック欄」にチェック(レ点)を入れることで明示すること。ただし、同じ解答を2つの専門グループに対して提出する場合には、第一志望グループ、第二志望グループの両方の「審査希望チェック欄」にチェックを入れればよい。
11. 解答中に出願者の氏名は記載しないこと。
12. 第12問～第14問を解答する際には、参照した文献や資料(ウェブサイトを含む)を明記すること。

注:

1. 第二志望グループへの志望がない場合には、第一志望グループの条件のみを満たしていればよい。

以上